

城戸幡大郎 きつからう 心理學・教育學者。明治二十六年七月一日愛媛縣
生れ、昭和二十年十一月十八日歿（二八九一—一九六五）。大正五年東京帝國
大學文料大學心理學科選科卒。爾來法政大學・東京文理科大學・中央
大學各教授、北海道教育大學總長、正則學園高校校長等歴任。この間
昭和八年留岡清男と雜誌『教育』を創刊、十二年教育科學研究會を組
織した他、保育問題研究會會長、生活科學研究所所長、教育刷新委員
會委員、子どもの文化研究所所長等々を務めた。

著書 『書及び書方の研究』（松本亦太郎・増田惟茂合著、大正八年二
月二十一日心理學研究會「心理叢書」）、『心理學の問題』（大正十
五年七月十五日岩波書店）、『古代日本人の世京觀』（昭和五年二月
十五日在波書店）、『心理學概説』（昭和六年四月五日岩波書店）、
『精神科學的人間像』（昭和二十一年六月二十日前田出版社）、『教
育を守るため』（合著・關口泰編、昭和二十九年二月二十八日柏林
書房）等。『城戸幡大郎と現代の保育研究』（城戸幡大郎先生卒壽記
念出版刊行委員会編、昭和五十九年十一月二十日燎の木社）刊。

